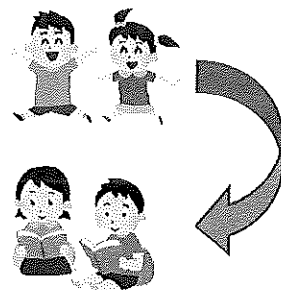


イトマン 横浜校新聞

9～10歳で 子どもの脳から 大人の脳へ移行期



9歳頃に脳の変化が出てくるという記事を見たので、ご紹介したいと思います。

生まれてから3歳くらいまでは、脳の発達の数合いはとて急激です。そして、3歳過ぎになるとややゆっくりとした速度で脳は発達していきます。そのまま行くのかというとそうではなく、子どもの脳は9～10歳ころにもう一度変化を見せます。子どもの学習という視点から見ても変化の兆しが現れる時期です。また、発達心理学の立場からは、このころを「9歳半の節」と名付けられています。変化がみられる前と後とでどう変化があるのでしょうか。

変化がみられる前(子ども脳)では、脳を使えば使うほど、脳に必要なエネルギーをどれだけでも得ることができる仕組みとなっていて、どんどんと脳を鍛える学習(漢字の書き取り、音読、計算問題など)をするのもっともふさわしい時期。

変化がみられら後(大人脳)では、脳を沢山使ってもエネルギーが脳に取り入れられる量が一定に決まっています。学習量にも制限が出てくるのです。移行期でも男女差が生じ、女子は男子より6ヶ月ほど遅れてやってきます。水泳の授業でも9歳の壁で躓きが出てくるかもしれませんが、イトマンの先生も9歳の壁を理解しながら子供たちの今後の成長・水泳技術の習得に良いサポートが出来たらと思っています。

注目!

旭区NEWS

旭区の小学校は、今年は7月に旭区小学校水泳大会・8月に横浜市小学校水泳大会が行われるそうです!こういった大会では、泳ぎを覚えていない子に関して、泳げないことから出場することが難しいと感じるかもしれません。しかしイトマンの15～10級の間のどこかの級に在籍してるお子様ならクロールを覚え終わってたり、クロールの呼吸方法を学んでいたりするので、クロールで大会に出場できる可能性が高いと思われます。この大会は4年、5年、6年の3年間でしか出場権を掴むことができないそうです。今、イトマンで頑張っている姿を大会で披露してみるのはいかがでしょうか。水泳で努力している姿を学校のお友達に披露できるのはこのような大会でしか見せるチャンスがないかもしれませんよ。

出場して、周りのお友達に上手に泳いでいる姿を見せ、

驚かせて自分の特技の1つとなり自信につながります。この大会を目標にすれば、水泳がより楽しく感じるといいますし、水泳を続けるモチベーションにもつながる気がします!

ここまで頑張ってこれたのは・・・

20級までに水慣れ、顔つけ、呼吸動作、蹴伸び、、、と水への恐怖心を取り除く事が目標とされていたので、水への恐怖心が簡単に取り除けずテストで何度も不合格になってしまったこともあったかと思います。そして、水への恐怖心が取り除けたかと思ったら、バタ足で理解に苦しむ場面にもぶちあたって大変な思いを・・・

合格できなくて何度も心が折れた時、そんな時に支えてくれたのは保護者の皆さまのサポートのおかげです。今後ともご家庭でイトマンでのことを話題にさせていただいて、子供が話題の中心となることでお子様はいきいきと自分のことを話してくれ、イトマンでのことを話すとき楽しく感じてもっと水泳が楽しくなっていくと思います。イトマンの先生も、家でもイトマンでも楽しいと思ってもらえるようにたくさんコミュニケーションをとって、お子様にいきいきと自分のことを話してもらるように会話の引き出しを沢山備えていこうと思います。

今後ともサポートの程宜しくお願い致します。

